

令和5（2023）年度 第2回県北構想区域病院及び有床診療所会議及び 第3回県北地域医療構想調整会議議事録

- 1 開催日時 令和6（2024）年3月11日（月） 19:00～20:40
2 開催場所 那須庁舎5階 501・502会議室
3 出席者 別添名簿のとおり
※傍聴人 関東信越厚生局 岩渕氏（WEB）

4 議事内容

(1) 開 会 進行：県北健康福祉センター 岩瀬総務福祉部長補佐（総括）兼総務企画課長

(2) あいさつ 渡辺所長（県北健康福祉センター）

今年度は、新型コロナをはじめ感染症の対応や、高齢社会の進展や従事者不足といった環境の厳しさなど、大変ご苦労されたかと存じます。県行政としては、保健医療計画をはじめ、医療・介護・福祉の各計画を多く策定する年となりました。この会議でも議題とし、ご協力いただきましたことを感謝申し上げます。保健医療計画でも、災害医療や新興感染症への対応について「確保が必要な事業」として定めることとされており、昨今の状況を鑑みるに、常に「平時と有事」の対応や対策を考える必要があると感じております。

本日の会議は、各医療機関が担う医療機能の調査、病床機能報告、外来機能報告の結果など申し上げ、地域医療構想の進捗状況の確認や、今後に向けての課題など挙げていただくことを主な議題としております。これらは現在、全国共通で進められている議題であり、調整会議が始まった頃よりはそういった共通の議題が盛りだくさんとなっておりますが、地域医療構想実現のためには、今後も、分野、地域の課題など、全国共通のものと地域ならではのものをバランス良く協議していく必要を感じております。委員の皆様には、県北構想区域における効率的・効果的な医療・介護を提供する体制の構築に向けて、それぞれの専門的見地から、大所高所にたった御意見を賜りますようお願いいたします。

(3) 議 事 小沼議長進行

【議題】

議題(1) 各医療機関が担う機能についての具体的対応方針（意向調査・役割調査）の検証・見直しについて【資料1】

- ・資料1により室井病院、菅又病院は欠席のため事務局より説明
国際医療福祉大学病院、黒磯病院、菅間記念病院は該当する項目について各病院から説明
- ・対象の全医療機関の具体的対応方針が策定され、今会議で合意を完了した。

議題(2) 地域医療構想の進捗状況の検証について【資料2】

- ・資料2により説明
- ・議長から進捗状況の評価及びまとめ
病床数は充足する方向で推移している、回復期病床の確保は課題として継続、方向性が決まらない非稼働病床の問題も比較的少ない地域である。
アンケート調査から見えた地域の課題等として、地域、時間帯、疾患によっては受診に苦慮することがある、生活の場での療養は在宅医療のための資源の確保、リハビリ面での一貫した取扱いや連携が重要、人手不足・人材確保の問題などがある。

議題(3) 令和5年度病床機能報告集計結果の概要（速報版）について【資料3】

- ・資料3により説明
- ・前回報告以降に「きうち産婦人科医院」が17床減少（19→2床）

議題(4) 外来医療の機能の明確化・連携について【資料4】

- ・資料4により説明
- ・那須赤十字病院が令和6年度も継続して、紹介受診重点医療機関となることを今会議で確認。

議題(5) データでみる県北医療圏の医療提供体制について【資料5】

- ・資料5により説明
- ・医療政策課より概要説明後、自治医科大学山名講師により各分析データの説明

議題(6) その他

- ・「医師の働き方改革」資料のみ提供
「今冬の医療負荷の状況及び課題等について」資料投影により説明

(稲野アドバイザー)

- ・県北の各病院のいろいろな対応をつぶさにみることができた。
- ・アンケート結果から高度急性期が円滑に利用しにくいことがある。
- ・アンケート結果やデータを客観的・冷静にみて県北の医療圏はどうなんだという検討することが地域医療構想の場として必要。ニーズを汲み取る努力を真摯にやっていたい。
- ・社会のニーズから医療機能などのデータを公開することが加速されている。
- ・県内県北地域からいろいろ流出が多いが仕方ないの一言で片付けてはいけない。
- ・各病院の特色と連携を深めてやっていくようお願いしたい。

(4) 開 会